

# ファイナルレポート

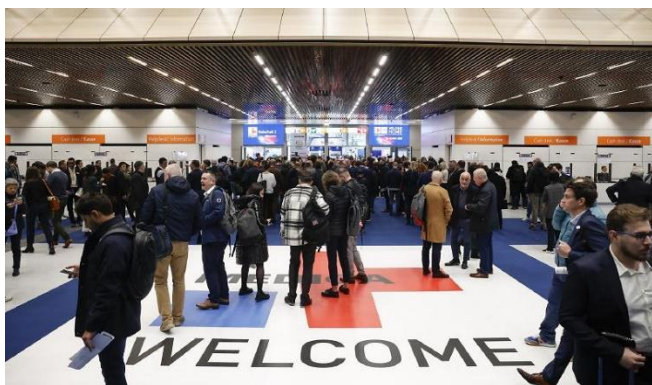


2024年1月17日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

**世界中から参加のヘルスケア業界関係者への強い訴求で商談は活況**

**意思決定権ある参加者多く、ユニークで多様なイノベーション、  
そして、質の高い併催プログラムが同展の魅力高める**



デュッセルドルフで開催された MEDICA と COMPAMED では、4 日間の会期後、両展が世界的なヘルスケアビジネスの商談の場、トップレベルの専門知識、情報収集のための優れたプラットフォームであることが再確認されました。主催者メッセ・デュッセルドルフの専務取締役 E.ヴィーンカンプは、「世界中から参加したビジターへの強いアピール、意思決定者の割合の高さ、質の高い併催プログラム、バリューチェーン全体に沿った独自の多様なイノベーションを持つ出展製品が要因となりました」と今回の開催を総括しました。国際的に先導的な役割を果たすヘルスケア展であり、医療技術製造業界にとっての重要イベントである両展は、展示ホールでのビジネスが再開され、11月13日から16日まで開催されました。5,372 の MEDICA 出展企業と 735 の COMPAMED 出展企業は、計 83,000 人（前回 81,000 人）の業界関係者に、病院、検査機関などで必要となる最新の医療製品、サービスのみならず、ハイテク部品の供給から高性能消費者向けヘルスケア製品まで、展示発表し、ビジネスマインドの高いビジターとの商談を実施しました。

「ビジターの約 4 分の 3 はドイツ以外からの参加で、国数は 166 か国となります。この数字は MEDICA COMPAMED 両展が、ドイツやヨーロッパを代表する展示会であるだけでなく、グローバルなビジネス・プラットフォームとしても非常に重要であることを示しています」とメッセ・デュッセルドルフの同展ディレクター、

C.グロッサーはコメントしています。加えてその80%以上が、企業など所属組織における重要なビジネス上の意思決定に大きく関与もしています。

MEDICA と COMPAMED の両展同時開催によるシナジーと海外ビジネスへの「推進」は、業界にとって非常に重要で、最新の報告書や業界団体の声明によって強調されています。ドイツの医療技術マーケットが約360億ユーロ規模で揺るぎないナンバーワンであるにもかかわらず、ドイツの医療技術産業の輸出割当は70%弱と報告されています。「MEDICA は輸出指向の強いドイツの医療技術産業にとって、世界中の潜在的な顧客に対し、自らの存在をアピールするために非常に有効な場であり、多くの海外からのビジターや出展者を魅了しています」とドイツの光学・フォトニクス・分析・医療技術産業の業界団体である SPECTARIS の医療技術責任者である M.クールマン氏は両展を評価しています。

### **<より良い健康のためのイノベーション - デジタルと AI を活用>**

展示会場、コンファレンス、専門フォーラムのいずれにおいても、今年の主な焦点は治療の「外来化」と診療所間のネットワーク化の増加を背景とした医療システムの DX でした。もう1つのトレンドは、AI やロボット・システム、より持続可能なプロセスを実装するためのソリューションなどのサポート・システムに基づくサービスです。出展者が発表したイノベーションには、正確なニューロフィードバック信号を通じた脳刺激による睡眠の質を向上させる AI 制御のウェアラブル、省エネでありながら効果的な凍結療法、および診断、治療、リハビリテーション向けのロボット・システムがありました。その他にも、ロボット支援による超音波検査や心臓血管手術などがありました。

### **<トップスピーカーが専門トピックに「スパイス」を加え、方向性を提示>**

MEDICA のハイライトには、数々のイノベーションに加えて、多面的な併催プログラムでの著名人の訪問やプレゼンテーションもあげられ、注目を集めました。ドイツ連邦共和国保健省の Dr. K.ラウターバツハ大臣は、同展併催の第46回ドイツ病院デーの開会式にオンライン登壇し、ドイツにおける大規模な病院改革と医療構造に関する重大な変化についての議論に参加しました。

### **<デジタルイノベーション - スタートアップ企業が大きな話題を呼ぶ>**

MEDICA のステージ・プログラムには、さらに多数の見どころがありました。その中でも特に注目度が高かったのは、第12回 MEDICA START-UP COMPETITION の決勝（11月14日）です。傑出したデジタルイノベーションを対象とした毎年恒例の同コンペでは、高感度で迅速に多重タンパク質評価を行うイムノアッセイ・プラットフォームを出展したイスラエルのスタートアップ企業、Me Med が今年の優勝を獲得しました。また、第15回 Healthcare Innovation World Cup の決勝戦では、ドイツ Diamontech の開発チームが出展した、血糖値の非侵襲測定を行う特許取得済みの使いやすいツールでした。

## <同時開催 COMPAMED: 未来の医療機器製造のための主要テクノロジーを探し出す場>

医療機器製造などヘルスケア製品のモノづくりに必要な技術を探し求める業界関係者に必須の展示会 COMPAMED は、今回もホール 8a と 8b にて開催されました。同展会期中、39 か国、735 の出展企業が、医療製品、医療機器の製造における主要テクノロジー、及びその利用方法に関する専門能力を実証する一連のイノベーションを展示発表し、必要とするエンジニアとの商談を連日行いました。医療機器製造における幅広いトピックは、マイクロ・コンポーネント (例: センサー) やマイクロ流体力学 (例: 最小スペースでの液体管理技術、臨床検査試験で使用する技術)、原材料 (例: セラミック、ガラス、プラスチック、複合材料など) から、クリーンルーム向けの洗練されたパッケージング・ソリューションまで、多岐にわたりました。

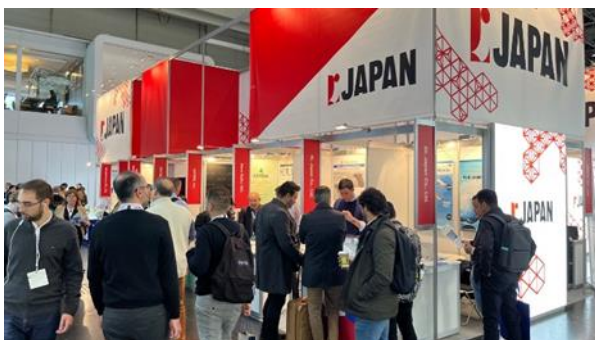


COMPAMED にて例年通り開催された 2 つの専門フォーラムでは、研究、及び新製品開発の双方に関して、現在の技術動向がより深い視点で発表されました。さらに医療機器加工技術に関する海外市場や、販売認証を満たすべき規制要件に関する実践的な情報も数多くありました。

「今年の COMPAMED でも、再びグローバルなネットワーキングに大きな焦点が当てられたことを嬉しく思います。特に世界的危機の時代において、これは非常に重要だと考えます。私どもパビリオンの出展者も、ビジターの国際的割合の高さに満足しており、コンタクトや引き合いの質の高さにも非常に満足しています」と、同展のサポーター団体でもあり、グループ出展主催者でもあるドイツのマイクロシステム協会、IVAM の代表、Dr. T. ディートリッヒ氏は同展開催を高く評価しました。

## <日本から両展合計 140 社が出展、4 年ぶりの出展者をはじめ多くの日本企業が商談に手応え>

日本企業の出展者は今年、MEDICA,COMPAMED を合わせて 140 社 (MEDICA 85 社、COMPAMED 55 社) が出展し、前回 126 社を上回りました (欧州などからの日系現地法人出展は上記とは別に 24 社出展)。新型コロナも 5 類移行となり、4 年ぶりの出展という日本企業も多く、商談が各社ブースで活発に行われました。



MEDICA のホール 15 には今回もジェトロ運営のジャパン・パビリオンが設置され (写真)、「出展参加企業の方々からは、「これまで面識のなかった国々の代理店と接点を持つことができた」「MEDICA は来場者の質が高くとても満足した」といった前向きな声をたくさんいただきました。出展の成果も非常にありました」と同機構の担当者からのコメントが寄せられました。同ホールには

東京都、千葉県以外にも、AMED のパビリオンが 4 年ぶりに設置されました。

同じく COMPAMED では**東京都、さいたま市、福島県、信州大学（写真）、**が今回もパビリオンを設置し、**大田区**が4年ぶり、**大阪府**が初めてパビリオン出展し、各自治体の中小企業や取引メーカーの出展や商談をサポートしました。

信州大学の担当者からは次のコメントが寄せられました「企業5社と信州大学ブースを設け参加した、ストの影響か全体の来場者数はそれほど伸びていないが、ブース全体での見込み案件は昨年以上であり大きく伸び、出展各社の満足度は高かった。連続出展している企業は昨年の反省を生かし展示方法にも工夫が見られた。過去の MEDICA/COMPAMED で出会った客先との共同開発が進んでいる企業もある。また出展の機会を人材育成と捉え若手を連れてきている企業もあり各社積極的な姿勢が見られた」



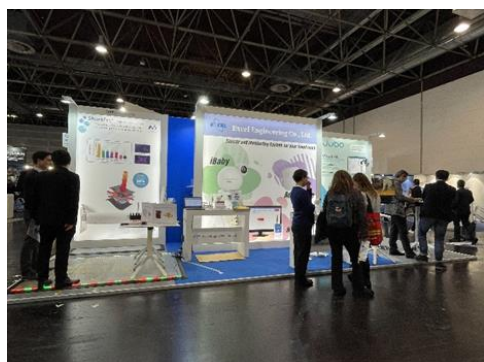
MEDICA 日本出展者の同展参加に関しますコメントを以下に紹介します。

「4年ぶりの参加で新製品を含めた展示を行った。弊社ブースへの来場者は以前ほどではなかったが、コロナ禍明けで来場者数もかなり戻って来ているとの話も聞いており良いタイミングだったと思う。新製品は先進国をターゲットとしており、ヨーロッパやその他の商社と会う良い機会だった」**(アペレ/メイン出展製品・ACT測定機)**

「新規引き合いの獲得及び既存代理店とのミーティングが実現でき、有意義な時間となりました。ヨーロッパのお客様のみならず、アジア・中東などからもお立ち寄り頂けたため、より広い商圏での引き合いを獲得が出来、より今後の営業活動にプラスとなりました」**(タスク/ジェトロ・パビリオン/自動生検針エースカット)**

「今回初めての参加でしたが、大変有意義な時間でした。海外に目を向けるだけでも、これだけの販路が見いだせるのだということが認識できただけでも、今後の活動に大いなる参考となりました」**(アステム/ジェトロ・パビリオン/医療用ピンセット)**

「弊社としては本年も無事出展できましたことを嬉しく思います。ブースの位置が良く、共同出展社の方からも、「実りのあるものになった」と大変満足していただき、私たちとしてもありがたい限りでした。日本国内で販売展開している製品が MEDICA 出展を介してグローバル市場に受け入れられる事が再認識できた事は、最大の収穫でもあります。来年も前向きに検討したいと思います」**(エクセルエンジニアリング・写真/安心見守りカメラ)**



「多くの国から来た販売代理店の人と話をする事ができた。各国での同等製品の販売状況や、当社製品の将来性、適正価格や販売方法などをヒアリングする事ができたのは大きな成果だった」**(メロディ・インターナショナル/AMED パビリオン/モバイル分娩監視装置)**



次に COMPAMED 日本出展者の同展参加に関しますコメントを以下に紹介します。

「来場者も多く、沢山の国際交流によって、自社の製品について多く意見を聞いたこと、現在の製品の市場を勉強することができてよかったです。弊社の技術に対し、予想以上の相談案件もありました」**(テクニカルアーツ/さいたま市パビリオン/ドレナー用穿刺針)**

「全体的に非常に良かった」**(日本特殊管製作所/マーカーパイプ)**

「今回は自治体ブースでの共同出展から単独出展に切り替えた1年目であり、不安を抱えた上での出展であったが、前年を大幅に超える商談を実施できた。連続した出展ではあるものの、再スタートとして、よい一歩を踏み出せたと考えています」**(協立金属工業/医療用ステンレスワイヤ)**

「今回は大きな手応えを感じる事ができました。やはり、出展10年をかけたものにならないと実感する展示会でした。ご来展の方で取り引きに直結すると感じた方は2件です。これまで初めての事です。一件はフランスで、すでに見積りの依頼が入ってきました。もう1件もベネチアです。その他、次のランクとして4件ほどありました。やはり価格面から日本は欧州やアメリカの方々との取り引きが成立できる事が何よりとこれまで出展して思う事です」**(東鋼/医療用ドリル)**

「4年ぶりの出展だったが、事前アポイントにより再訪してくれた顧客もおり、また初日から技術的にマッチした有望案件も複数あり、サンプル提示され打合せが出来たのでとても有意義だった。帰国後には早速図面が送られてきて打合せを進めており、今後のビジネスに繋げて行きたい」**(JKB・写真/微細精密プレス加工品)**

「コロナの影響で4年ぶりの出展となったが、前回出展に比べて当社ブースへ来訪してくれた人が増えた。良い出展となった」**(セイリン/針)**



「大阪府として初のパビリオン出展となったが、府内の出展各社それぞれが手応えを感じる展示会となった。明確な目的を持った来場者が多く、国内展示会以上に事前準備が重要になることを再認識した」**(大阪府)**

「初めての海外展示会だったが、海外市場での優位性やチャンス性を身をもって感じられた所が最大の収穫。今後の海外ビジネスに対する経営のマインドセットが変わった」**(サンコー技研/大阪府パビリオン/プレス加工)**

「製品化前の市場調査のための出展だったが、海外企業からも興味を持っていただけることが分かった。具体的な案件に繋がる話もあり、出展した意義があった」**(マッスル/大阪府パビリオン/ペットシステム)**

両展日本出展企業のコメントは以下でもお読みいただけます。

「MEDICA 出展者の声」 <https://medica.messe-dus.co.jp/exhibitors/testimonials>

「COMPAMED 出展者の声」 <https://compamed.messe-dus.co.jp/exhibitors/testimonials>

その他の情報は以下にてご確認ください。

<https://www.medica-tradefair.com>      <https://medica.messe-dus.co.jp/>  
<https://www.compamed-tradefair.com>      <https://compamed.messe-dus.co.jp/>

次回の MEDICA、COMPAMED は 2024 年 11 月 11 日～14 日、ドイツ・デュッセルドルフにて開催されます。

また、メッセ・デュッセルドルフグループがグローバルに手がける医療業界向けメッセの情報は、こちらからオンラインでご覧ください：<https://www.medicaliance.global>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部、ラーベ

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: [mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp)